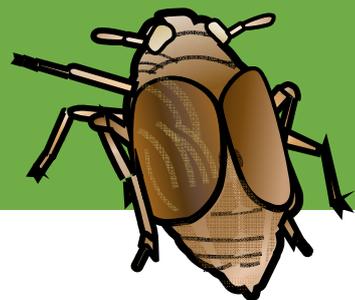


トビイロウンカの坪枯れが発生しました



1 概況

県巡回調査においてトビイロウンカ（図1）の発生が、9月上旬に県北西部の1地点で確認されました。

さらに、9月中旬以降、広島市、東広島市、三原市、福山市など県中南部で坪枯被害（図2）や多発生が確認されています。

中国地方1か月予報（9月15日発表、図3）では、今後増殖に好適な気象条件となっており、収穫時期まで日にちのある中生品種では被害発生の恐れがあります。

2 防除対策

- (1) トリフルメゾピリム剤を含む長期残効型箱施用剤を処理していないほ場での発生が目立ちますので、そのようなほ場では特に注意してください。
- (2) ほ場を見て回り、坪枯れやほ場の変色などの被害やトビイロウンカが多発生が確認された場合は、直ちに防除を行いましょう。
- (3) 次の幼虫発生盛期は9月下旬頃と予測されています。トビイロウンカは、卵や成虫に対する薬剤効果が低いため、幼虫発生盛期が防除適期となります。この時期にほ場での発生を確認しましょう。

今後の幼虫発生盛期の予測（6月23日～27日飛来を仮定）

広島	呉	福山	三次
9/20～	9/28～	9/25～	10/14～

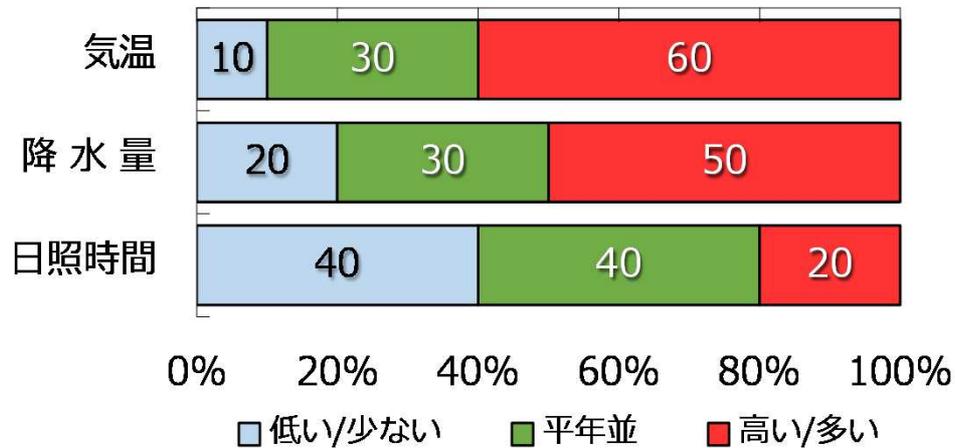
- (4) トビイロウンカは株元付近に生息します。粉剤や液剤により防除を行う際は、薬剤が株元に十分届くよう散布しましょう。
- (5) 収穫予定の近い品種で被害発生が確認された場合は、可能な限り早めに収穫しましょう。
- (6) 飼料用稲、飼料用米で防除を行う際は、実需者に防除の可否を確認し、農林水産省の「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」を参照して薬剤を選定しましょう。
- (7) 収穫時期に近い防除となるため、農薬を散布する際は使用時期（収穫前日数）、使用回数等使用基準を遵守しましょう。



(図1) トビイロウンカ(長翅型♀, 短翅型♀, 幼虫)



(図2) トビイロによる坪枯被害 (令和4年9月14日 広島市佐伯区)



(図3) 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間の各階級の確率(%)
(広島地方气象台9月15日発表, 9月17日から10月16日までの天候見通し)

お問い合わせ先

広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム
〒739-0151
東広島市八本松町原6869
TEL: 082-420-9662 (直通)



ひろしま病害虫情報

(<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/byogaichu/>)

ひろしま病害虫情報 **検索**

ホームページ
リニューアル!

